



Innovation today, healthier tomorrows

2017年度（平成30年3月期） 第3四半期連結業績概要

2018年1月30日

大日本住友製薬株式会社

2017年度3Q決算概要

金額単位：億円

	2016年度 3Q実績	2017年度 3Q実績	前年同期比			2017年度	
			増減額	うち為替影響	増減率(%)	従来予想	進捗率(%)
売上高	3,055	3,641	586	94	19.2	4,740	76.8
売上原価	743	932	188	* 80	25.3	1,185	78.6
売上総利益	2,312	2,710	398	14	17.2	3,555	76.2
販売費及び一般管理費	1,869	2,150	281	63	15.0	2,835	75.8
販売費・一般管理費	1,298	1,471	173	45	13.4	1,945	75.6
研究開発費	572	679	107	18	18.8	890	76.3
営業利益	442	559	117	△49	26.5	720	77.7
経常利益	499	580	81		16.3	720	80.5
特別損益	△52	△19	32			△25	
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	296	506	210		71.1	470	107.6
E B I T D A	639	728	89		13.9	920	79.2

* 売上原価前期比の為替影響80億円には、棚卸資産未実現利益の
為替変動による影響金額（70億円）を含む。

【為替レート】

2016年度3Q実績： 1\$ =106.6円 1元=15.9円

2017年度3Q実績： 1\$ =111.7円 1元=16.6円

2017年度予想： 1\$ =110.0円 1元=16.5円

- ・ 前年同期比増収、増益。通期予想に対しても順調な進捗
- ・ 四半期純利益の増加は、米国税制改正による税金費用の減少の影響等

主要製品売上高（日本セグメント）

金額単位：億円

	2016年度 3Q実績	2017年度 3Q実績	前年同期比		2017年度	
			増減額	増減率 (%)	従来予想	進捗率 (%)
アイミクス	131	146	15	11.5	175	83.2
トレリーフ	117	127	10	8.4	160	79.4
ロナセン	101	100	△0	△ 0.1	132	76.0
メトグルコ	87	85	△1	△ 1.5	113	75.4
リプレガル	82	90	8	10.1	113	79.5
トルリシティ *	43	118	75	173.2	145	81.4
アバプロ	81	76	△4	△ 5.3	80	95.4
シュアポスト	33	39	5	16.1	53	72.6
アムビゾーム	35	34	△1	△ 2.4	45	75.7
プロモーション品 計	708	815	107	15.1	1,016	80.2
アムロジン	102	91	△11	△ 10.8	106	86.0
プロレナール	52	44	△8	△ 15.6	51	85.9
ガスモチン	48	40	△8	△ 17.4	50	79.1
メロペン	34	27	△8	△ 21.9	33	81.1
その他	141	113	△28	△19.7	160	70.9
合計	1,086	1,130	44	4.0	1,416	79.8

(注) 上記の各品目別の売上高は、仕切価ベースで記載 (*トルリシティのみ薬価ベース)

- ・トルリシティが増収をけん引。アイミクス、トレリーフも堅調に推移
- ・長期収載品は引き続き減少傾向

主要製品売上高（北米・中国セグメント）

	2016年度 3Q実績	2017年度 3Q実績	前年 同期比 増減額	2016年度 3Q実績	2017年度 3Q実績	前年同期比			2017年度			
						増減額	うち 為替差	増減率	予想		円ベース 進捗率	
北米セグメント	百万ドル			億円			%			百万ドル	億円	%
ラツーダ	911	1,210	299	971	1,351	380	62	39.2	1,618	1,780	75.9	
プロバナ	233	227	△ 6	248	253	5	12	2.1	313	344	73.6	
アプティオム	75	102	27	80	114	34	5	42.0	152	167	68.2	
シクレソニド	37	13	△ 24	39	14	△ 25	1	△63.6	13	14	102.7	
ゾペネックス	38	24	△ 13	40	27	△ 13	1	△32.4	29	32	84.7	
COPD新製品 *	—	3	3	—	4	4	—	—	6	7	54.4	
その他	54	136	82	57	152	94	7	163.9	158	174	87.1	
合計	1,347	1,715	368	1,436	1,916	479	87	33.4	2,289	2,518	76.1	
中国セグメント	百万元			億円			%			百万元	億円	%
メロペン	707	801	93	113	133	21	6	18.2	1,023	169	78.8	
その他	104	127	23	17	21	5	1	27.6	171	28	75.7	
合計	811	928	117	129	154	25	6	19.4	1,194	197	78.4	

* ウチブロン、シープリ、アルカプタ、ロンハラ マグネア

【為替レート】

2016年度3Q実績： 1\$ =106.6円 1元=15.9円

2017年度3Q実績： 1\$ =111.7円 1元=16.6円

2017年度予想： 1\$ =110.0円 1元=16.5円

- ・ 北米はラツーダ、アプティオムが順調に拡大
- ・ ロンハラ マグネア（SUN-101）の売上は2018年度から寄与

金額単位：億円

		医薬品事業				合計	その他	連結
		日本	北米	中国	海外その他			
2017年度 3Q実績	売上高（外部顧客向け）	1,130	1,916	154	106	3,305	336	3,641
	売上原価	402	181	34	50	667	265	932
	売上総利益	728	1,735	121	56	2,639	70	2,710
	販売費・一般管理費	375	957	64	27	1,423	48	1,471
	セグメント利益	353	778	57	29	1,216	22	1,238
	研究開発費					671	8	679
	営業利益					545	15	559
2016年度 3Q実績	売上高（外部顧客向け）	1,086	1,436	129	74	2,725	330	3,055
	売上原価	351	70	23	36	480	263	743
	売上総利益	735	1,366	106	38	2,246	66	2,312
	販売費・一般管理費	422	745	60	22	1,249	48	1,298
	セグメント利益	312	621	46	16	996	18	1,014
	研究開発費					565	7	572
	営業利益					431	11	442
増減額	売上高（外部顧客向け）	44	479	25	32	580	6	586
	販売費・一般管理費	△47	212	4	5	174	△0	173
	セグメント利益	40	156	11	13	220	4	224
	研究開発費					107	1	107
	営業利益					113	4	117

【為替レート】 2016年度3Q実績：1\$ = 106.6円 1元 = 15.9円
 2017年度3Q実績：1\$ = 111.7円 1元 = 16.6円

- ・ 北米は増収により、大幅な増益達成
- ・ 日本はコストの削減も寄与し増益確保

経常利益および親会社株主に帰属する四半期純利益

金額単位：億円

	2016年度 3Q実績	2017年度 3Q実績	前年同期比	
			増減額	増減率(%)
営業利益	442	559	117	26.5
営業外損益	56	20	△34	
経常利益	499	580	81	16.3
特別利益	48	—	△48	
投資有価証券売却益	48	—		
特別損失	100	19	△81	
事業構造改善費用	100	19		
法人税等	151	55	△97	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	296	506	210	71.1

【為替レート】

2016年度3Q実績：1\$ =106.6円 1元=15.9円

2017年度3Q実績：1\$ =111.7円 1元=16.6円

2017年度通期業績予想

金額単位：億円

	2016年度 実績	2017年度 従来予想	2017年度 修正予想	従来予想比	前期比		
				増減額	増減額	うち 為替影響	増減率 (%)
売上高	4,116	4,740	4,740	—	624	43	15.1
売上原価	1,001	1,185	1,185	—	184	85	18.4
売上総利益	3,116	3,555	3,555	—	439	△42	14.1
販売費及び 一般管理費	2,588	2,835	2,835	—	247	28	9.5
販売費・一般管理費	1,780	1,945	1,945	—	165	20	9.3
研究開発費	808	890	890	—	82	8	10.1
営業利益	528	720	720	—	192	△70	36.5
経常利益	543	720	720	—	177		32.5
特別損益	△71	△25	△60	△35	11		
親会社株主に帰属する 当期純利益	290	470	550	80	260		89.7
E B I T D A	728	920	920	—	192		26.3

- ・ 経常利益以上の予想の変更はなし
- ・ 特別損失を増額 25億円→60億円（事業構造改善費用）
- ・ 米国税制改正に伴う処理により法人税等を減額
⇒親会社に帰属する当期純利益を80億円増額

【為替レート】

2016年度実績： 1\$ =108.4円 1元=16.1円

2017年度予想： 1\$ =110.0円 1元=16.5円

（変更なし）

株主還元方針（2017年5月11日公表）

- 安定的な配当に加えて、業績向上に連動する株主還元も実施
- 2016年度・2017年度は、第三期中期経営計画で掲げる経営目標である営業利益500億円を上回ることから、普通配当18円に特別配当2円を加えて年間20円（期末11円）の配当を予定

株主還元方針および当期の業績予想を踏まえ、当期の期末配当(特別配当)を増配
1株につき普通配当9円＋特別配当2円 計11円

↓
普通配当9円＋特別配当10円 計19円

1株当たり配当金	15年度	16年度	17年度（予定）		
	実績	実績	前回予想	実績	今回修正 予想
第2四半期末	9円	9円	9円	9円	－
期末	9円	11円	11円	－	19円
年間	18円	20円	20円	－	28円

臨床開発の現況

2017年10月以降の変更部分は赤字で示しています

製品/コード名	一般名	予定適応症等	国/地域	フェーズ 1	フェーズ 2	フェーズ 3	申請中
アプティオム	eslicarbazepine acetate	(新効能) てんかん (単剤)	カナダ				
		(新用法: 小児) てんかん (単剤/併用)	カナダ				
ラツェダ (SM-13496)	ルラシドン塩酸塩	統合失調症	中国				
		(新用法: 小児) 双極 I 型障害うつ	米国・カナダ				
		統合失調症	日本				
		双極 I 型障害うつ・双極性障害メンテナンス	日本				
SEP-225289	dasotraline	成人・小児注意欠如・多動症 (ADHD)	米国				
		過食性障害 (BED)	米国				
		注意欠如・多動症 (ADHD)	日本				
トレリーフ	ゾニサミド	(新効能) レビー小体型認知症 (DLB) に伴うパーキンソンニズム	日本				
ロナセン	プロナンセリン	(新用法: 小児) 統合失調症	日本				
		(新剤形: 経皮吸収型製剤) 統合失調症	日本				
EPI-743	パチキノン	リー脳症	日本				※
APL-130277	アポモルヒネ塩酸塩水和物	パーキンソン病に伴うオフ症状	米国				
EPI-589	未定	パーキンソン病	米国				
		筋萎縮性側索硬化症 (ALS)	米国				
SEP-363856	未定	統合失調症	米国				
		パーキンソン病に伴う精神病症状	米国				
		統合失調症	日本				
DSP-2230	未定	神経障害性疼痛	英国・米国・日本				
DSP-6745	未定	パーキンソン病に伴う精神病症状	米国				
SEP-378608	未定	双極性障害	米国				

2017年10月以降の変更はありません

製品/コード名	一般名	予定適応症等	国/地域	フェーズ 1	フェーズ 2	フェーズ 3	申請中
BBI608	ナパブカシン	結腸直腸がん（併用）（国際共同治験）	米国・カナダ・日本				
		膵がん（併用）（国際共同治験）	米国・日本				
		結腸直腸がん（併用）	米国・カナダ				
		固形がん（卵巣がん、乳がん、メラノーマ、膠芽腫等）（併用）※3	米国・カナダ			※1	
		悪性胸膜中皮腫（併用）	日本			※1	
		固形がん（併用）※4 血液がん（単剤/併用）	米国・カナダ※5				
		肝細胞がん（併用）	日本				
BBI503	amcasertib	固形がん（結腸直腸がん、頭頸部がん、卵巣がん等）（単剤）	米国・カナダ			※1	
		固形がん（肝細胞がん、胆管がん、消化管間質腫瘍）（単剤）	カナダ				
		卵巣がん（単剤）	米国				
		肝細胞がん（併用）	米国		※2		
		固形がん（併用）	米国・カナダ				
		固形がん（単剤）、肝細胞がん（併用）	日本				
BBI608+BBI503	ナパブカシン amcasertib	固形がん（併用）	米国				

※1/フェーズ1/2のフェーズ2段階 ※2/フェーズ1/2のフェーズ1段階 ※3/膠芽腫の開発はカナダのみ
 ※4/種々のがん種で複数の試験を実施（消化器がん、膵がん） ※5/カナダでの開発は消化器がんのみ

がん領域 (ナパブカシンおよびamcasertibを除く)

2017年10月以降の変更部分は赤字で示しています

製品/コード名	一般名	予定適応症等	国/地域	フェーズ 1	フェーズ 2	フェーズ 3	申請中
DSP-7888	adegramotide/ relatimotide	骨髄異形成症候群 (単剤)	日本			※1	
		小児悪性神経膠腫 (単剤)	日本			※1	
		膠芽腫 (併用)	米国・カナダ ・日本等				
		固形がん、血液がん (単剤/併用※3)	米国・カナダ				
DSP-2033	alvocidib	急性骨髄性白血病 (AML) (併用/再発・難治性患者対象)	米国・カナダ 等				
		急性骨髄性白血病 (AML) (併用/初発患者対象)	米国				
		急性骨髄性白血病 (AML) (併用/初発および再発・難治性患者対象)	日本				
WT4869	未定	骨髄異形成症候群 (単剤)	日本		※2		
		固形がん (単剤)	日本				
WT2725	未定	固形がん、血液がん (単剤)	米国				
		固形がん (単剤)	日本				
TP-0903	未定	固形がん (単剤)	米国				
DSP-0509	未定	固形がん (単剤)	米国				
DSP-1958 ※4	チオテパ	造血幹細胞移植の前治療 (単剤)	日本				

※1/フェーズ1/2のフェーズ2段階
その他の領域

※2/フェーズ1/2のフェーズ1段階

※3/併用は米国のみ

※4/未承認薬・適応外薬の開発品

製品/コード名	一般名	予定適応症等	国/地域	フェーズ 1	フェーズ 2	フェーズ 3	申請中
PXL008	imeglimin	2型糖尿病	日本				
DSP-1747	オベチコール酸	非アルコール性脂肪肝炎 (NASH)	日本				
DSP-6952	未定	便秘型IBS、慢性便秘	日本				

臨床開発の進捗状況（2017年10月30日からの主な変更点）

- **Lonhala™ Magnair™（ロンハラ マグネア）（グリコピロニウム臭化物）**
 - COPD：米国で承認取得（2017年12月）
 - 2018年1月に製品認知活動を開始、本格的な販売活動は2018年度初めに開始予定

- **アポモルヒネ（APL-130277）**
米国：フェーズ3試験（CTH-300）終了、申請準備中

- **dasotraline**
日本：ADHDのフェーズ1試験を開始

- **alvocidib**
日本：初発および再発・難治性患者対象にAML（併用）のフェーズ1試験を開始

- **新規掲載品目**
 - imeglimin：日本で2型糖尿病のフェーズ3試験を開始
 - DSP-0509：米国で固形がんのフェーズ1試験を開始

（ご参考）

ナパブカシン：医師主導治験（SCOOP試験）の結果がASCO-GIで発表（2018年1月20日）

- 試験概要：結腸直腸がんを対象としたナパブカシンとペンブロリズマブとの併用のフェーズ1/2試験（Clinical Trials.gov No. NCT02851004）
- スポンサー：国立がん研究センター東病院
- コラボレーター：大日本住友製薬株式会社



ASCO-GIの発表要旨は学会のウェブサイトの抄録をご覧ください
(http://abstracts.asco.org/210/AbstView_210_202445.html)

アポモルヒネ：フェーズ3試験結果（CTH-300試験）

➤ 試験デザイン：

- ✓ アポモルヒネ（APL-130277）の有効性、安全性および忍容性を評価するための12週間のランダム化・プラセボ対照二重盲検比較フェーズ3試験
- ✓ レボドパに反応を示すオフ症状を伴うパーキンソン病患者109名が対象

➤ 有効性：主要評価項目および副次的評価項目の両方においてプラセボに対して有意差が認められた

- ✓ 主要評価項目：投与開始から12週間後における投与30分後のMovement Disorder Society Unified Parkinson's disease Rating Scale（MDS-UPDRS）Part IIIスコアの投与前からの平均変化量（投与90分後まで効果が持続）
- ✓ 副次的評価項目：投与開始から12週間後における投与後30分以内のオン状態の患者の割合（予測値）（APL-130277投与群：35%、プラセボ投与群：16%）

➤ 安全性：

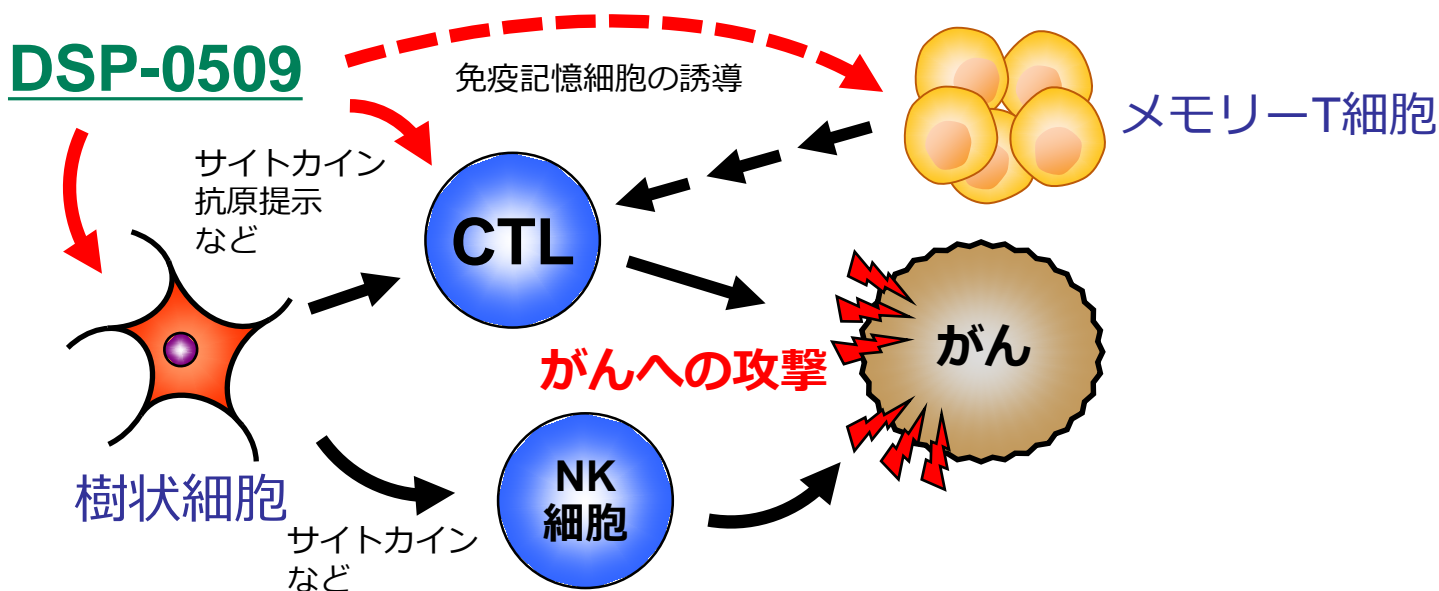
- ✓ 総じて良好な忍容性を示し、重要な安全性シグナルまたは有害事象は認められなかった
- ✓ タイトレーション期および維持期における主な有害事象：吐き気（27.0%）、眠気（14.9%）、めまい（14.2%）、あくび（12.8%）、頭痛（9.2%）

■ 本試験結果を基に申請準備中

パーキンソン病に伴うオフ症状を対象に、2018年春に米国で申請予定

新規化合物の紹介：DSP-0509

- 対象疾患：固形がん
- 起源：自社
- 薬理的機序：Toll-like receptor (TLR) 7 アゴニスト
- 開発段階：フェーズ1試験（米国）
- 期待されるプロフィール：
 - 樹状細胞に発現するTLR7に対するアゴニスト作用を介して、サイトカイン誘導や細胞傷害性T細胞（CTL）の活性化を促進し、抗腫瘍作用を示すと考えられる
 - また、免疫記憶を司るメモリーT細胞を誘導し、長期抗腫瘍免疫作用を示すことが期待される



参考資料

<目次>

2017年度3Q決算概要

P.18 対前期増減

P.19 セグメント別 売上高

臨床開発

P.20 ナパブカシン 開発進捗状況

P.21 Amcasertibおよびナパブカシン 開発進捗状況

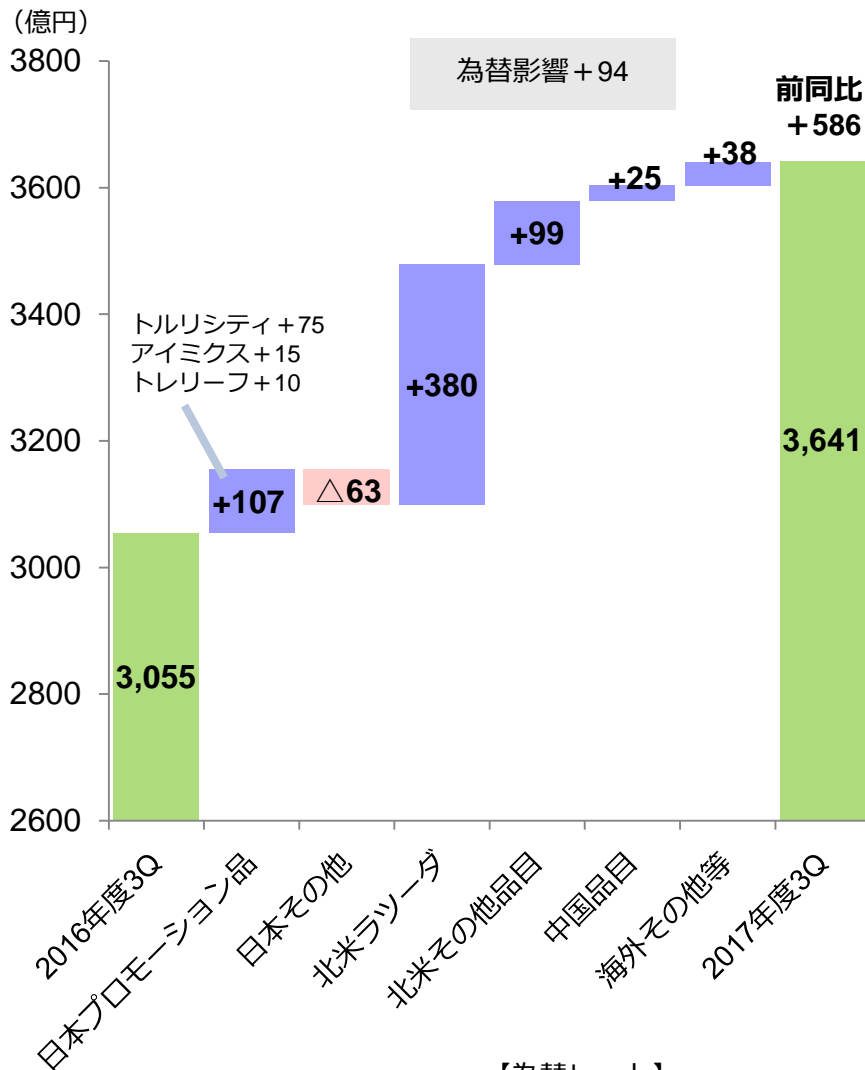
P.22 ラツォーダ（ルラシドン） 開発進捗状況

P.23 主な後期開発品等の申請目標

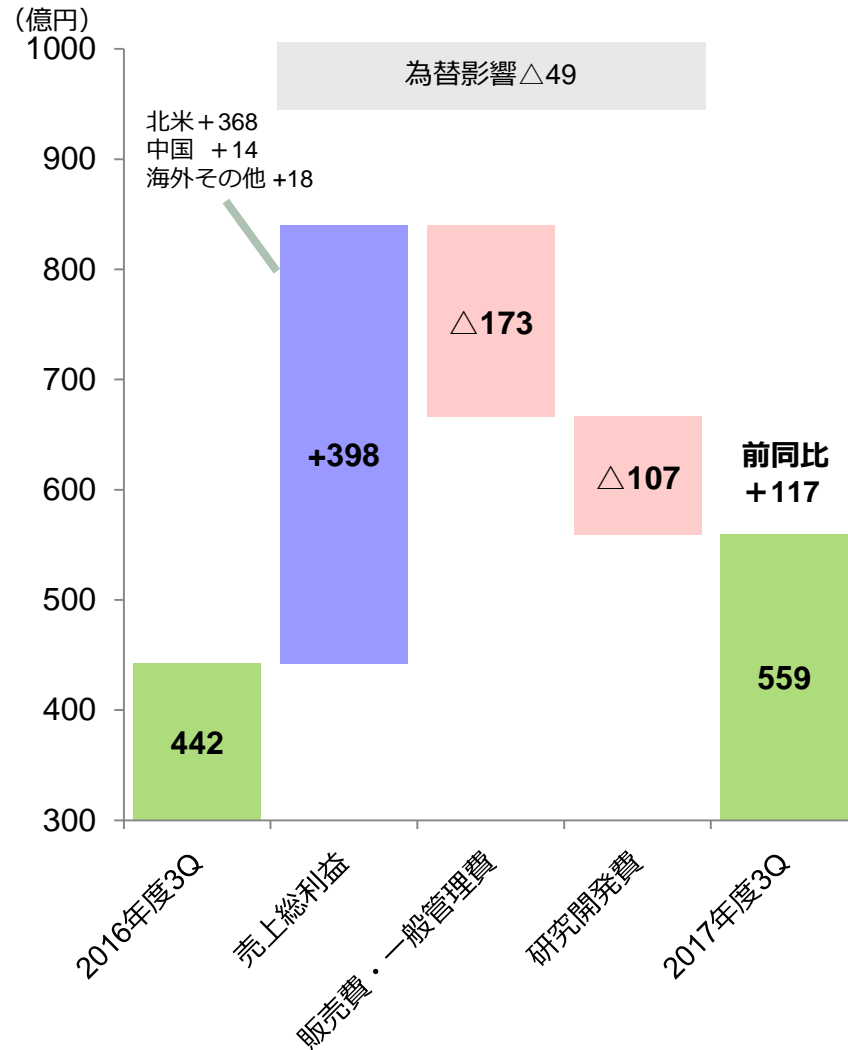
P.24 製品上市計画

対前期増減

売上高



営業利益



【為替レート】

2016年度3Q実績： 1\$ =106.6円 1元=15.9円

2017年度3Q実績： 1\$ =111.7円 1元=16.6円

セグメント別 売上高

金額単位：億円

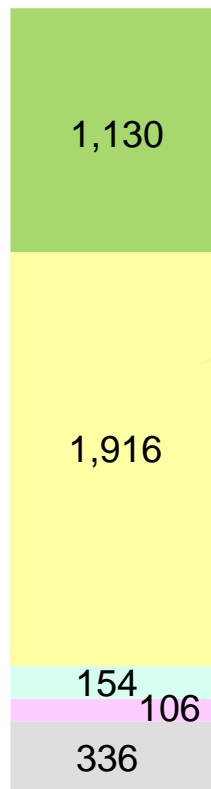
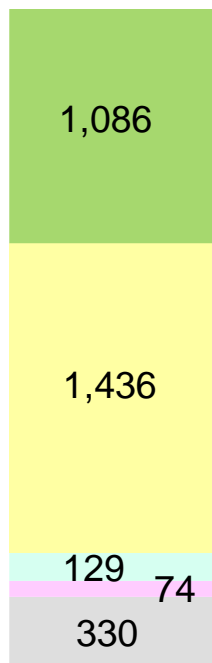
2016年度3Q

2017年度3Q

3,055

3,641

前同比 +586 +19.2% 進捗率 76.8%



日本 ・前同比 +44 +4.0 %
 ●トルリシティ伸長、アイミクス、トレリーフも堅調
 長期収載品減
 ・進捗率 79.8%

北米 ・前同比 +479 +33.4 %
 ●ラツーダ、アプティオムが伸長、
 シクレソニド販売権譲渡益も寄与
 ・進捗率 76.1%

中国 ・前同比 +25 +19.4 %
 ●メロペンを中心に引き続き好調
 ・進捗率 78.4%

海外その他
 ・前同比 +32 +43.2 %
 ●東南アジアへの輸出開始等メロペン輸出が増加
 ・進捗率 66.6%

その他 ・前同比 +6 +1.8 %
 ・進捗率 74.6 %

海外売上比率 53.8%

59.8%

【為替レート】

2016年度3Q実績：1\$ =106.6円 1元=15.9円

2017年度3Q実績：1\$ =111.7円 1元=16.6円

※ 進捗率は通期予想比

ナブパカシン 開発進捗状況（2018年1月30日現在）

2017年10月以降の変更はありません

開発段階	開発地域	予定適応症	併用薬	試験名	試験開始
フェーズ 3	米国・カナダ ・日本	結腸直腸がん（併用）	FOLFIRI、FOLFIRI + ベバシズマブ	CanStem303C	2016年6月
	米国・日本	膵がん（併用）	ゲムシタビン+ナブパクリタキセル	CanStem111 P	2016年12月
フェーズ 2	米国・カナダ	結腸直腸がん（併用）	セツキシマブ、パニツムマブ、カペシタビン	BBi608-224	2012年3月
	米国・カナダ	固形がん※（併用）	パクリタキセル	BBi608-201	2011年4月
	日本	悪性胸膜中皮腫（併用）	シスプラチン+ペメトレキセド	D8807005	2015年2月
	カナダ	膠芽腫（併用）	テモゾロミド	BBi608-251	2015年3月
フェーズ 1	米国・カナダ	消化器がん（併用）	FOLFOX、FOLFOX+ベバシズマブ、CAPOX、 FOLFIRI、FOLFIRI + ベバシズマブ、 レゴラフェニブ、イリノテカン	BBi608-246	2014年1月
	米国	肝細胞がん（併用）	ソラフェニブ	BBiHCC-103	2014年12月
	米国	膵がん（併用）	ゲムシタビン+ナブパクリタキセル、 FOLFIRINOX、FOLFIRI、 イリノテカンリポソーム注射剤 + フルオロウラシル + ロイコボリン	BBi608-118	2014年8月
	米国	血液がん（単剤/併用）	デキサメタゾン、ボルテゾミブ、 イマチニブ、イブルチニブ	BBi608- 103HEME	2015年5月
	日本	肝細胞がん（併用）	ソラフェニブ	D8808001	2015年2月
	米国	固形がん（併用）	イピリムマブ、ペムブロリズマブ、 ニボルマブ	BBi608-201CIT	2015年8月

※/卵巣がん、乳がん、メラノーマ等

試験開始はClinical Trials.gov掲載内容（2018年1月29日現在）

Amcasertib/ナパブカシン 開発進捗状況（2018年1月30日現在）

2017年10月以降の変更はありません

Amcasertib

開発段階	開発地域	予定適応症	併用薬	試験名	試験開始
フェーズ 2	米国・カナダ	固形がん※（単剤）	—	BBI503-101	2012年2月
	カナダ	肝細胞がん、胆管がん （単剤）	—	BBI503-205b	2015年2月
	カナダ	消化管間質腫瘍（単剤）	—	BBI503-205c	2017年3月
	米国	卵巣がん（単剤）	—	BBI503- 205GYN-M	2015年6月
フェーズ 1	米国	肝細胞がん（併用）	ソラフェニブ	BBIHCC-103	2014年12月
	日本	固形がん（単剤）、 肝細胞がん（併用）	ソラフェニブ	DA101003	2015年3月
	米国・カナダ	固形がん（併用）	カペシタビン、ドキシソルビシン、 ニボルマブ、ペムブロリズマブ、 パクリタキセル、スニチニブ	BBI503-201	2015年9月

※／結腸直腸がん、頭頸部がん、卵巣がん等

Amcasertib + ナパブカシン

開発段階	開発地域	予定適応症	併用薬	試験名	試験開始
フェーズ 1	米国	固形がん（併用）	—	BBI401-101	2015年4月

試験開始はClinical Trials.gov掲載内容（2018年1月29日現在）

ラゾーダ（ルラシドン） 開発進捗状況（2018年1月30日現在）

2017年10月以降の変更部分は赤字で示しています

日本・中国（自社）

適応症・予定適応症	開発地域	開発段階	申請予定
統合失調症	中国	申請中	—
統合失調症	日本	フェーズ3	2019年度
双極Ⅰ型障害うつ・双極性障害メンテナンス		フェーズ3	2019年度

欧州（自社／提携）

- サノビオン・ヨーロッパが、英国、スイス、ノルウェー、フィンランド、スウェーデン、デンマークおよびオランダにおいて販売中
- 欧州29カ国およびトルコにおける独占的販売権をAngelini社に許諾（2017年11月）
Angelini社はイタリアで発売（2017年11月）

アジア、南米ほか（提携）

- 申請中： ベネズエラ、**コロンビア**（第一三共が申請）
- 承認取得： ブラジル（第一三共が承認取得）
- 既販売国： オーストラリア（豪州セルヴィエ社と販売提携）、台湾（生達化学製薬と販売提携）、シンガポール・タイ・香港（DKSHと販売提携）

主な後期開発品等の申請目標（2018年1月現在）

領域	開発品目	申請目標			
		2017年度	2018年度	2019年度	2020～2022年度
精神神経領域	SEP-225289 <dasotraline> (成人・小児 注意欠如・多動症) 米国	2017年8月申請			
	トレリーフ <ゾニサミド> (レビー小体型認知症に伴うパーキンソニズム) 日本	2017年8月申請			
	APL-130277 <アポモルヒネ> (パーキンソン病) 米国	●			
	SEP-225289 <dasotraline> (過食性障害) 米国		●		
	ロナセン <ブロナンセリン> (統合失調症／経皮吸収型製剤) 日本		●		
	SM-13496 <ルラシドン> (統合失調症／双極Ⅰ型障害うつ／双極性障害メンテナンス) 日本			●	
	SB623 (慢性期脳梗塞) 米国				●
がん領域	alvocidib (急性骨髄性白血病／併用) 米国		●※		
	BBI608 <ナパブカシン> (結腸直腸がん／併用) 米国・日本				●
	BBI608 <ナパブカシン> (膵がん／併用) 米国・日本				●
その他の領域	PXL008 <imeglimin> (2型糖尿病) 日本				●

新有効成分

適応症等追加

※迅速承認制度活用を前提（今後、FDAと協議予定）

地域	2017年度	2018年度	2019年度	2020～2022年度	
国内		<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">トレリーブ (レビー小体型認知症に 伴うパーキンソニズム)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">チオテパ (造血幹細胞移植の前治療)</div>	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">ロナセン (統合失調症/ 経皮吸収製剤)</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">ルラシドン (統合失調症/双極Ⅰ型障害うつ/ 双極性障害メンテナンス)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">ナパブカシン (結腸直腸がん、膵がん)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">amcasertib (固形がん)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">DSP-7888 (固形がん、血液がん)</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">オベチコール酸 (NASH)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">DSP-6952 (便秘型IBS/慢性便秘)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">imeglimin (2型糖尿病)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">iPS細胞由来RPE細胞 (加齢黄斑変性)</div>
米国	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">ウチブロン、シーブリ (COPD) (導入品)</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">ロンハラ マグネア (COPD)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">dasotraline (ADHD)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">アポモルヒネ (パーキンソン病)</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">dasotraline (BED)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">alvocidib (急性骨髄性白血病)</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">SB623 (慢性期脳梗塞)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">DSP-2230 (神経障害性疼痛)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">SEP-363856 (統合失調症)</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">ナパブカシン (結腸直腸がん、膵がん)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">amcasertib (固形がん)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">DSP-7888 (固形がん、血液がん)</div>
中国	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">ロナセン (統合失調症) (2017年2月承認取得)</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">ルラシドン (統合失調症)</div>			

: 精神神経領域
 : がん領域
 : 呼吸器領域
 : その他の領域

新有効成分
適応症等追加

将来に関する事項

- 本資料には、当社グループに関する業績その他の予想、見通し、目標、計画その他の将来に関する事項が含まれています。
これらの事項は、作成時点において入手可能な情報による当社の仮定、見積り、見通しその他の判断に基づくものであり、既知または未知のリスクおよび不確実性が内在しております。
- したがって、その後のさまざまな要因により、予想・計画・目標等 が記載どおりに実現しない可能性や、実際の業績、開発の成否・進捗その他の見通し等が記載内容と大きく異なる結果となる可能性があります。
- 医薬品（開発中のものを含む）に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。



大日本住友製薬

Innovation today, healthier tomorrows